

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1942
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.36, No.9 (1942. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19420901-0085

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ふたつ付けても、殊に歴史的具體性を尊ぶ著者が何故に、たゞ擴大されたる行爲の形式原理を理論と政策の統一原理として高く買はれるのが私の頗る奇とする所である。配分の原理を以て理論と政策の統一であると著者が是認するならば、存在論にまで遡つて理論と政策の統一に苦心せられる意味は一體どこにあるのであらうかと改めて問はざるを得ない氣がする。

以上に於て私は極めて簡単な紹介をしながら若干の疑問を提出した。著書よりの引用が餘り簡單であり、著者の眞意を誤解してはいないかを惧れるものであるが、私の懐疑的態度は決して此書を低く評價せんが爲ではなく、寧ろ反對に、私自身之によつて大いに反省する所があり、示唆を受けたるが故に外ならない。たゞ其論じ方が頗る抽象的であり、具體的な歴史解釋による實證にまで及ぶことが殆どない爲、實際に體驗反省的に理解し難いのである。譬喻は餘り適切でないかもしれないが、マルクシズムに譬へていへば、唯物辯證法の哲學だけあつて、唯物史觀も、資本論も未だ展開されてない(又は暗示に止まる)といふ様な感があるのは私だけであらうか。固より二冊の著書に一つの學問體系の全體に互る完成を求めようとする譯ではないが、學問の革新を叫び、在來の經濟學の根本的變革を聲高く要求する著者に對して、ある程度の具體的、歴史的實踐を經濟學本來の領域の中に期待することは許されてよいと思ふのである。而して私自身としても政策論の性格について、歴史の意義について、頭を悩しつゝあるのであつて、著者板垣氏の解決の仕方に多大の期待をかけてゐるのである。

前 號 (第三十六卷) 目 次

- 原料資源問題について……………加 田 哲 二
- 作業労働に於ける協同形態に ついて……………小 高 泰 雄
 - 經營組織論研究の一節 —
- 現代經濟學理論概況……………高 橋 誠 一 郎
 - (昭和十七年六月二十五日慶應義塾經濟學會講演)
- ジョン・ウォルター・ウッド著 「空港—設計諸要素の一端と 將來の發展」……………三 邊 清 一 郎

購 一 部 金五拾錢 郵税金 貳錢
 讀 半ヶ年分 金貳圓九拾錢 郵税金拾貳錢
 料 一ヶ年分 金五圓四拾錢 郵税金貳拾四錢

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所へ
 營業に關する用件は發賣所へ
 原稿締切期日は發行前月十日

昭和十七年八月二十五日印刷
 昭和十七年九月一日發行 每月一回一日發行

三 田 學 會 誌
 禁 轉 載
 第 三 十 六 卷 第 九 號
 發 行 所 東京市芝區三田慶應義塾内
 江 田 龜 保
 發 行 者 東京市赤坂區新町五ノ四二
 金子 鐵 五 郎
 印 刷 所 東京市赤坂區新町五ノ四二
 金子 活 版 所
 兩 庫 三 九 四

發 行 所 東京市芝區三田慶應義塾内
 理 財 學 會
 配 給 元 東京市神田區淡路町二ノ九
 日本出版配給株式會社
 發 賣 所 東京市芝區三田二ノ一
 慶 應 出 版 社
 購讀申込は慶應出版社へ
 電話三田(三)二七九一番
 振替東京一五八一八〇番